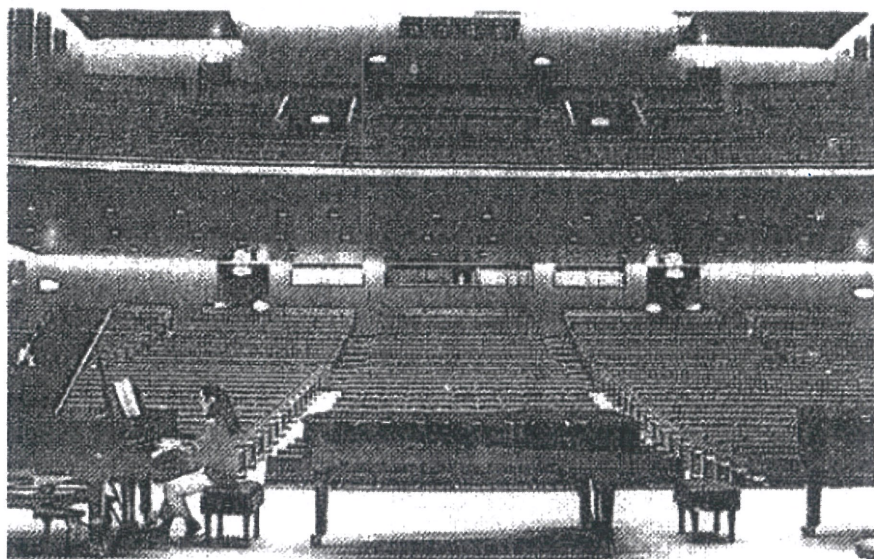


## 広島市のメルパルクホール

# 設備充実 18日にオープン



落ち着いた木目の内装を残したメルパルクホール内部

改修工事に伴って休館していた広島市中区白島北町のメルパルクホール(旧広島郵便貯金会館、地上四階、地下一階)が十八日、新装オープンする。地元音楽愛好者らの運動で存続した音響の優れたホール。客席やリハーサル室などが整備され、一年半ぶりの再登場になる。

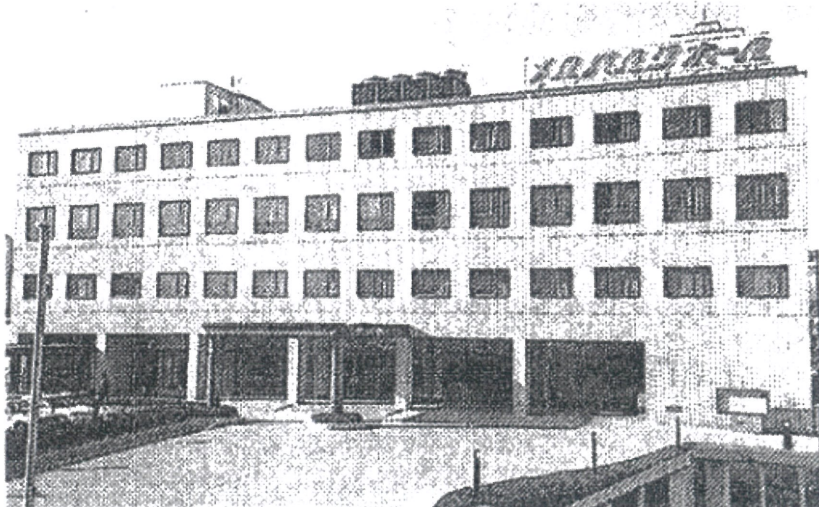
一、二階吹き抜けのホールは、音響効果の高い天井も設けた。壁の木目の内装をそのまま使用。客席数は、六十四減の千七百三十にしてゆとりを持たせた。いすは音がしない最新式を採用し、車

## 客席減らしゆとり

録画できる編集室、スタジオなどを新設。楽屋も倍近い九室に増やした。ゆったりした二階ロビーには喫茶室を設け休憩時にはビールやワインの提供はビールやワインの提供も。近くには、来年九月開通の広島新交通システムの

駅が設けられ、交通の便もよくなる。

昭和四十七年に開館した同ホールは、同区基町の新会館建設に伴って廃館が検討された。しかし、地元の高楽団体を中心とする存続運動で、二万人を超える署名が集まった。これを受けて中国郵政局が存続を決め、一昨年秋から約十八億円をかけて改修した。



保存運動で一年半ぶり再登場するホール

## リハーサル・編集室も新設

改修記念に同日、広島交響楽団がコンサート。十束尚宏が指揮、同市西区出身でパリ留学中のピアノリスト前田麻紀を迎え、クリーグの「ピアノ協奏曲」などを演奏する。整理券が必要。本年度はすでにホール開館日の六〇％程度が予約で埋まり、十一月には小沢征爾指揮のウィーンフィル公演なども予定されている。

青山幹夫支配人は「ヨーロッパの一流オーケストラから以前に『いいホールだからここで録音したい』と指名が掛かったこともあった。長くファンに愛着を持ってもらえれば」と語っている。